

平成25年

2月22日(金) — 3月24日(日)

休館日 ▶ 月曜日

開館時間 ▶ 午前9時—午後5時

観覧料 ▶ 一般・大学生=700(600)円
小・中・高生=300(200)円

※()内は前売及び20名以上の団体料金

※前売券は、豊橋市美術博物館・豊橋市二川宿本陣資料館・豊橋市役所じょうほうひろば

チケットぴあ・サークルKサンクス・セブンイレブンで2月21日木日まで販売(Pコード765-223)

※豊橋市敬老バッチ・シルバー優待カード、県の国こどもパスポートをお持ちの方は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と介助者は無料

※会期中展示替えを行います

主催 ▶ 豊橋市美術博物館・中日新聞社



山内花祭園「睨鬼」。清水神社蔵

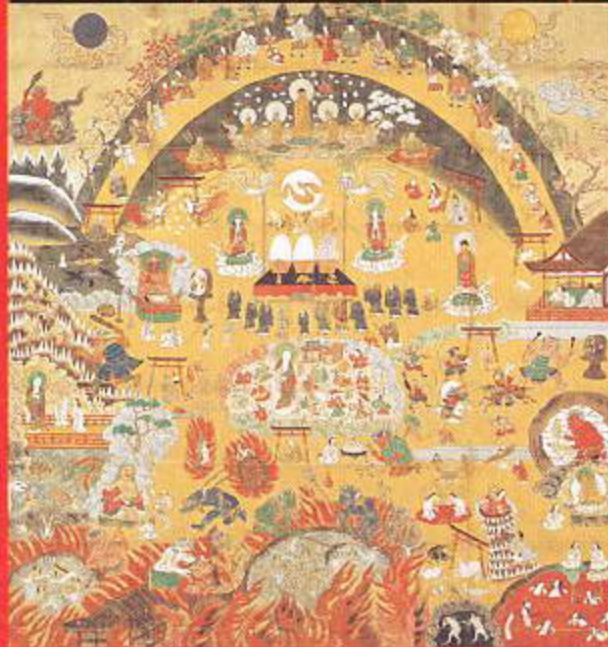
鬼 才 ON I 展



▶ 日本文化庁蔵(国指定) 現在中
江戸時代 大倉集古館蔵



曾川花祭園「山見鬼」。享保7年(1722)
前野神社蔵



▶ 豊橋市美術博物館蔵
多聞天(木造四天王立像のうち)
平安時代 善門寺蔵(墨文)



それとも迎ええられる神なのか

その鬼たちは追われる魔怪か

豊橋市美術博物館

牛頭大王、丑寅を祝む 観内伝斗町
平成3年(1991) 熊崎雅堂蔵(日本美術会蔵)

多聞天(木造四天王立像のうち)
平安時代 善門寺蔵(墨文)



鬼・オニ・ONI展

裸でトラの褌をしめ、角と牙を持つ正体不明の地獄の使者、鬼。
しかし、鬼は恐怖の対象としてだけでなく、悪業を追い払ったり、人々に豊かさを授ける存在とも考えられてきました。また、おとぎ話や大津絵のなかでは滑稽な愛される一面をみ

せることもあります。本展では、文献や文化財にみられる「鬼」の歴史、豊橋や奥三河の鬼祭り・花祭りなどの祭礼にみられる「オニ」、あるいは近現代の作家の目を通して制作された「ONI」をテーマに、初出品資料を含む多彩な資料により鬼を紹介しつ



血の地獄高図 室町時代 湧性寺蔵



多聞天(木造二天像のうち) 平安〜鎌倉時代 東照宮寺蔵



鬼祭り絵巻(部分) 江戸時代 個人蔵



しや天どうじ(酒西養子) 江戸時代 藤井文庫蔵



百鬼夜行図屏風(右隻) 現在中 江戸時代 大倉集古館蔵

EVENT

講演 ▶ 2.23(土) 午後2時
「鬼の誕生と地方への展開
—中央の鬼から三河の鬼へ—」
講師=山崎一司氏(民俗学博士・研究家)
会場=当館講義室

花祭美演 ▶ 3.2(土) 午後2時
出演=下黒川花祭保存会 間黒花祭保存会
御幸花祭保存会
会場=当館五間ホール

スライド講演 ▶ 3.16(土) 午後2時
「写真家がみた鬼のまつり」
講師=芳賀日出男氏(公益社団法人日本写真家協会名誉会員)
会場=当館講義室

ワークショップ ▶ 3.10(日) 午後1時30分
「デザイン書道で鬼のうちわを作ろう」
講師=鈴木愛氏(デザイナー)
対象=小学3〜6年生 会場=当館講義室
申込=2月5日(火)から電話で当館へ

ギャラリートーク ▶ 3.9(土)・3.23(土)
両日とも午後2時
講師=当館学芸員
会場=当館展示室(要観覧料)



解鬼の反復の舞【月】 芳賀日出男 昭和47年(1972) 高浜市やきもの里かわら美術館蔵



大津絵「鬼の念仏」 江戸時代 浜松市美術館蔵



豊橋市美術博物館

〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町3-1 (豊橋公園内)
TEL.(0532)51-2882 FAX.(0532)56-2123